

第1回大阪府子ども政策推進会議 議事概要

日 時：令和7年11月25日（火）14:00～14:25

場 所：特別会議室（大）

出席者：知事、副知事、関係部局長 等

概 要：

■資料1について福祉部長から説明。

（森岡副知事）

3つの壁ということで「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」を書いてあるが、どの壁が一番厚いのか。定量的な分析はあるのか。

（福祉部長）

はっきりと示されたものはないが、日本総研が2025年上半期の人口動態統計を元に分析されており、結婚数については一定下げ止まっている一方、有配偶出生率は下がっている。要は「1人目・2人目の壁」の方が厚いということ。また、内閣府が令和5年度にデータを基に都道府県別に分析しており、そこでは大阪や東京は「結婚の壁」が厚いと分析されている。

（森岡副知事）

おそらく割とどれにも効く、あるいはどれも微妙に効くというものが多いと思うが、どれを重点化するかというのは、ある程度示した方が良いと思う。

時間軸・時系列とともに出生率が下がっている。結婚・出産というのは文化的な側面が大きいと思う。日本でも50年前と今では結婚観が変わっていると思う。少子化対策調査の中では、あまり文化的な側面は分析されていないので、そういうところも参考文献などで分析してはどうかと思う。

（福祉部長）

価値観の変容している中で、子ども・子育てに対する関心をどう高めていくか。ライフデザイン講座もやっているが、色々な取組の中で子育てに関するハードルが解消しつつあるところを知っていただく取組も必要だと思う。安心して子どもを産み育てていけば、その方の人生にとってどうなのかというところも考えていただく機会を作っていく必要もあるのかなと思っている。今後、各部局の皆様と一緒にどのような対策をとっていけば良いか検討させていただけたらと思っている。

(吉村知事)

合計特殊出生率は全国的に減少してきているが、その中でも沖縄県や宮崎県はそれでも高い。その差はどこにあるか分析しているのか。

(福祉部長)

内閣府の都道府県別の分析でいくと、沖縄県や宮崎県では、若者が出会いを実現しやすい環境になっているかなと思っている。

(吉村知事)

少子化は大阪府だけでなく全国的な課題だと思う。国においても人口戦略本部が立ち上がった。

現状では、これをすれば全て解決するという案はないと思う。日本だけではなく、先進国をはじめどの国も、少子化に直面している。その中でも対策をしっかりと講じたエリアは、一定その速度が緩くなっているという結果もあるので、やはり人口減少対策を打っていくということは非常に重要だと思う。

「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」にスポットを当てて、その壁を乗り越えるために、何が必要で、何が阻害要因になっているのか、その壁を乗り越えたいと思う人にとって、何が果たして障がいになっているのか、もう少し突き詰めて調査したいと思う。その上で、「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」について、明確に振り切って、より具体的で直接的な政策は何かを捉えたいと思う。

少子化対策として、子育て支援、経済的な支援、環境的な支援、あるいは不妊治療、結婚支援などがよく挙がってくるが、網羅的にやってしまうと、どうしても何をするのかわかりにくくなる。

「結婚の壁」については、結婚したいと思っていても、なかなかそういう機会がない方がどうやってその壁を乗り越えることができるのか。その壁を壊すことができるのか、あるいはその壁を下げることができるのか。

「1人目の壁」についても、結婚した際に、子どもは産まないと決めるかどうか家庭の判断だが、子どもを産みたいと思った方が1人目を授からない場合、何が課題になっているのか。こういうところの対策は不妊治療とかかもしれない。

「2人目の壁」については、1人目を産んだ後2人目が欲しいなというときに、2人目は難しいとなった場合、例えば、保育や子育てが非常に大変。仕事と家庭を両立するにあたって負担が片方に偏っている、会社や職場も全然配慮がないとか、それぞれステージによって違ってくると思う。根本には個人の価値観があって、そこには踏み込むことはできない訳だが、希望する人にとって、何が障がいになっているのか。何が障壁になっているのか。この分析をもう少し丁寧にやった方がいいと思う。

ジャンル分けは、「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」ではないかなと思っているので、あとは、この視点で何が必要なのか、どういう政策をするのが有効なのか、何が障壁の原因になっているのか、もう少し分析して、大阪府としてできる限りの措置をとっていきたいと思う。

今年度末までに、大阪の「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」を突破するプランとして考えたいと思う。

それから、大阪府単体でできること、全国的にやるべきことをまとめたら、大阪府から国に対してしっかりと提案していく。国においても人口戦略本部が立ち上がったし、現在の政権においても、人口減少問題というのは非常に大きな日本の問題であるということを明確に位置づけているので、大阪府単体ではできないが、これをやったら「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」を壊したり、低くできるのではないかというものを、国に対して提案することを分けて考えたら、大阪府としても積極的に国に提案していきたいと思う。

あとは、市町村であっても身近にあってやるべきことがたくさんあると思うので、市町村でやる方が適切なことも、しっかりと具体的に検討した方が良いと思う。

それぞれが単独ではなかなか解決が難しいし、色んな社会・環境要因もあると思うが、全国的な課題でもあるので、国・都道府県・市町村という3層構造になっている中で、それれどういうことをするのが最も適切なのかと。当然、都道府県を中心に考えながら、その3層構造の中で、「結婚の壁」「1人目の壁」「2人目の壁」を乗り越えるため、あるいはその壁を低くするために何が必要なのかをもう少し詰めたいと思うので、よろしくお願ひします。